

脳神経内科 くすのき診療所

院長 苺田 典生 Fumio Kanda

脳神経内科 くすのき診療所

〒650-0044 兵庫県神戸市中央区東川崎町1-8-1 プロメナ神戸309
TEL : 078-361-2800 FAX : 078-361-2802 <http://kusunoki-cl.net/>

神経疾患の患者は受診すべき診療科がわからず、診療科を次々に回っていくことがあるそうだ。「大学病院と患者さんの『かけはし』になりたい」という苺田典生先生は、神経内科のクリニックを大学病院の近隣に開業することで、患者が行く場所を作り、かつ大学病院と同じ医療を提供することに挑戦している。苺田先生に大学病院の医療を支える機関としての診療所の役割とは何か、そして大学を退職してもなお持ち続ける教育への思いを伺った。

クリニックの開業のきっかけ

—先生のご経歴を教えてください。

私は神戸大学医学部を卒業して、田附興風会医学研究所北野病院、国立療養所兵庫中央病院、東京大学での勤務や米国留学を経た後、1993年に神戸大学第三内科に帰局して、神経グループの責任者となりました。2002年に神経内科が診療科として独立した際には、診療科長を務めました。大学病院勤務時には、人手不足もあって非常



苺田 典生 先生

に多忙な毎日を送っていました。毎日朝から夜まで外来診療に加えて病棟の回診をする生活でした。

その後、2009年に大学院講座として「神経内科学分野」が設立されることになりました。初代教授として、戸田達史先生（現 東京大学大学院医学系研究科神経内科学教授）をお迎えすることになり、私自身は、一度は大学病院を退職することを考えました。ですが、当時の病院長であった杉村和朗教授（現 神戸大学理事）に「研修医の教育をしてみないか」とのお言葉をいただき、神戸大学医学部附属病院の教育部門として設立された総合臨床教育センターの特命教授を拝命しました。それから、2017年3月まで大学病院で神経内科の臨床と研修医の教育に携わってきました。

—クリニックを開業するに至った経緯を教えてください。

総合臨床教育センター特命教授の任期が2017年3月に終了することになり、「今後の医師人生で何をしたいのか」を考えました。それまでの大学病院での診療を思い返してみると、「なぜこの患者さんはこんなに悪化するまで神経内科を受診しなかったのだろう」と思ったことが多くありました。大学病院に来院する神経疾患患者さんのなかには、内科や整形外科など数多くの医療機関を受診したり、手術を受けたりしても改善せず、さまざま